SERVIS Extender DVI

取扱説明書

ＤＶＩ遠隔ユニット [FE-3000CXU]

富士通コンポーネント株式会社

FUJITSU

安全にお使いいただくために必ずお読みください

このたびは、ＳＥＲＶＩＳ　Ｅｘｔｅｎｄｅｒ　ＤＶＩ　ＦＥ－３０００ＣＸＵ　をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。

本書では、使用者および周囲の方の身体や財産に損害を与えないための警告表示をしています。
警告表示は、警告レベルの記号と警告文から構成しています。
以下に、警告レベルの記号を示し、その意味を説明します。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

⚠警告	この表示は、正しく使用しない場合、人が死亡する、または重症を負う恐れがあることを示しています。
⚠注意	この表示は、正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、本装置自身またはその他の使用者などの財産に損害が生じる危険性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。

⚠	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
⃠	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
●	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。

本書中の、その他の記号の意味は次の様になっています。

お願い	この表示を無視して、誤った使い方をすると、本装置の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。 必ず守っていただきたい内容を示しています。
ご注意	この表示は、本装置を取り扱う上での注意事項を示しています。
Point	この表示は、本装置を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ＳＥＲＶＩＳは、富士通コンポーネント株式会社の商標です。
Ｗｉｎｄｏｗｓは、米国その他の国々で登録された Microsoft Corporation の登録商標です。

Copyright 2012 FUJITSU COMPONENT LIMITED

ご注意

●本製品の取り扱いについて

本製品として提供される取扱説明書（本書)、装置本体は、お客様の責任でご利用ください。本製品の使用によって発生する損失やデータの損失については、富士通コンポーネント株式会社は、一切責任を負いかねます。　また、本製品の障害の保証範囲は、どのような場合でも、本製品の代金としてお支払いいただいた金額を超えることはありません。　あらかじめご了承ください。

●電波障害自主規制について

対象型格：　ＦＥ－３０００ＣＸＵ

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づく、クラスＡ情報処理装置です。　この装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。　この場合には、使用者が適切な対策を講じるよう要求されることがあります。

●本説明書は、本製品とともに大切に保管してください。
本製品を第三者に譲渡する場合は、本説明書も譲渡してください。

●本説明書の内容の一部または全部を無断に転載することを禁止します。

●本製品、および、本説明書の内容は、将来、予告なしに変更することがあります。

使用中の取り扱いについて

⚠警告

ハイセイフティ用途

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、（１）原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御などの、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途ならびに（２）海底中継器、宇宙衛星など、極めて高度な信頼性が要求される用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。
お客様は当該ハイセイフティ用途に要する安全性ならびに信頼性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用と本製品を使用したことにより発生する、お客様又は第三者からの如何なる請求又は損害賠償に対しても、富士通コンポーネント株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

感電、火災

開口部から本装置内部に金属類を差し込んだり、落としたりしないでください。　火災・感電・故障の原因になります。

水ぬれ

本装置に水をかけたり、濡らしたりしないでください。　感電・火災の原因となります。

水場での使用

風呂場、シャワー室などの水場で使用しないでください。　感電・火災の原因となります。

悪環境での使用

本装置の上や近くに、花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または、小さな金属物を置かないでください。　装置内に入った場合、火災・感電・故障の原因になります。

電源プラグ抜去

万一、本装置から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに、電源プラグをコンセントから抜いてください。　感電・火災の原因となります。

使用中の取り扱いについて

⚠警告

電源プラグ抜去

万一、装置内部に水などの異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売窓口までご連絡ください。　そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグ抜去

万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、販売窓口までご連絡ください。　そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグ抜去

近くで雷が発生した時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、落雷等による直接・間接的な影響により装置が破壊され、感電・火災の原因となります。

感電

装置のカバーを開けないでください。　特に、通電中にカバーを開けますと、内部には高電圧部があり、感電の原因となります。

使用中の取り扱いについて

⚠注意

火災

使用中の本体やＡＣアダプタなどは、布でおおったり、包んだりしないでください。　熱がこもり、火災の原因になることがあります。

火災

本装置の開口部（通気孔など）をふさがないでください。
通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

衝撃、振動

本装置に過度の衝撃や振動を与えないでください。　感電・火災・故障の原因となることがあります。

国内仕様

本装置は、日本国内仕様です。　本装置を日本国外で使用された場合、弊社は、一切の責任を負いかねます。　また、弊社は、本装置に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承願います。

設置・据付について

⚠警告

感電

アクセサリの取り付けおよび取り外しを行う場合は、必ず、電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。　感電の原因となります。

感電･火災

本装置を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線をはずしたことを確認の上、行ってください。　コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

⚠注意

悪環境への設置

水、湿気、湯気、ほこり、油煙等の多い場所（調理台や加湿器のそばなど）に設置しないでください。　感電・火災・故障などの原因になることがあります。

不安定な場所

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

振動･衝撃

振動・衝撃の多い場所に置かないでください。　落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

専用箱での運搬

本装置を運搬する場合は、衝撃や振動を避けるため、購入時の箱か、同等の箱を使用してください。　ただし、変形および破損等がある箱は、使用しないでください。　本装置が故障する原因となることがあります。

結露

本装置を寒冷な環境から設置場所に移動すると、結露を生じることがあります。　装置が完全に乾燥し、設置場所とほぼ同じ湿度になってから使用してください。　すぐに使用すると、本装置が故障する原因となることがあります。

ＡＣアダプタ・電源コードについて

⚠警告

ぬれ手

濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。　感電の原因となります。

火災

電源プラグとコンセントの接続部には、ホコリやゴミをためないでください。その状態で長い間使用して湿気をおびると、接続部が熱をもって発火にいたる「トラッキング」をおこし、火災の原因になることがあります。

火災

電源コードを巻いたり、束ねたりしないでください。　その状態で使用すると電源コードが熱をもって発火し、火災の原因となります。

感電･火災

電源コードを傷つけたり、加工しないでください。　また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして、電源コードを傷めないでください。　感電・火災の原因となります。

感電･火災

電源コードのコードやプラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるい状態では使用しないでください。　そのまま使用すると、感電・火災の原因になります。

アース接続

電源を接続する前に必ずアース接続をしてください。　アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

アース接続

湿気の多い場所で使用する場合は、アース接続をしてください。
アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

感電･火災

指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。　また、タコ足配線をしないでください。　感電・火災・故障の原因となります。

ＡＣアダプタ・電源コードについて

⚠警告

感電・火災

添付の電源コード以外は、使用しないでください。　感電・火災の原因となります。

⚠注意

感電・火災

電源コードのプラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず電源コードのプラグを持って抜いてください。　電源コードを引っ張ると、コードの芯線が露出したり、断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

火災

電源コードのコンセント差し込みプラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。　プラグとコンセントの接触不良により、火災・故障の原因となることがあります。

火災

長時間、装置を使用しないときには、安全のため、必ず、電源コードをコンセントから抜いてください。　火災・故障の原因となることがあります。

感電・火災

電源コードを熱器具に近づけないでください。　コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

保守について

⚠警告

お客様自身の修理

本装置の修理は、お客様自身で行わないでください。　火災・感電の原因となります。　弊社にご連絡の上、弊社の担当保守員によるメンテナンスを受けてください。

分解･改造

本装置を分解･改造しないでください。　火災･感電の原因となります。　また、本装置の中古品をオーバーホールなどによって再生して使用しないでください。　使用者や周囲の方の身体や財産に予期しない損害が生じるおそれがあります。

⚠注意

装置内の取り扱い

静電気に対し、誤動作や故障を起こす場合があります。　保守担当者以外は内部に触れないでください。

廃棄

本装置は、金属、プラスチック部品を使用しています。　廃棄するときは、各自治体の指示にしたがってください。

目　次

安全にお使いいただくために必ずお読みください 2

1　はじめに 12

2　梱包品の確認 12

3　接続可能な機器 13

4　各部の名称と、はたらき 14

4.1　ＬＯＣＡＬユニット 14

4.2　ＲＥＭＯＴＥユニット 16

5　機器の接続 18

5.1　接続例 20

6　電源コードの固定方法 22

7　ラック取付方法 23

8　お手入れ 24

9　仕様 25

10　トラブル対策 27

1　はじめに

このたびは、ＳＥＲＶＩＳ　Ｅｘｔｅｎｄｅｒ　ＤＶＩ　ＦＥ－３０００ＣＸＵをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本装置は、サーバ・ＰＣのコンソール（ＤＶＩモニタ、キーボード・マウス、ＵＳＢデバイス等）を、１本のＣａｔ６ケーブルで、最大１００ｍ延長することができます。

ＤＶＩモニタの解像度は、１９２０×１２００（WUXGA）まで対応します。

ＵＳＢデバイスは、ＵＳＢ１．１、ＵＳＢ２．０デバイスを接続できます。　キーボード・マウスだけでなく、ＵＳＢメモリ・ＨＤＤドライブ・カメラ・スピーカなど、様々なＵＳＢ機器を接続できます。

2　梱包品の確認

箱を開けたら、次のものがそろっているか確認してください。

●ＬＯＣＡＬユニット	１台
●ＲＥＭＯＴＥユニット	１台
●ＡＣアダプタ	２個
●ＡＣコード（１ｍ）	２本
●ＤＶＩ－Ｄケーブル（１．５ｍ）	１本
●ＵＳＢケーブル（２ｍ）	１本
●取扱説明書（本書）	１冊
●ゴム足	８個
●ナイロンクランプ	２個
●ナイロンバンド	２個
●ネジ（ナイロンクランプ取付用）	２個

足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

3　接続可能な機器

本装置に接続できる機器は、次の通りです。

●ＤＶＩ－ＤまたはＤＶＩ－Ｉインターフェースを持つサーバ・ＰＣ
●ＵＳＢ１．１、またはＵＳＢ２．０インターフェースを持つサーバ・ＰＣ
●ＤＶＩ－ＤまたはＤＶＩ－Ｉインターフェースを持つモニタ
●ＵＳＢ１．１、またはＵＳＢ２．０対応デバイス

ご注意

●対応する、サーバ・ＰＣのＯＳ（Operating System）は次の通りです。
他のＯＳでの動作は、保証できません。

Ｗｉｎｄｏｗｓ ７（32bit／64bit）
Ｗｉｎｄｏｗｓ Ｖｉｓｔａ（32bit／64bit）
Ｗｉｎｄｏｗｓ ＸＰ（32bit／64bit）
Ｌｉｎｕｘ

●本装置のご使用にあたり、デバイスドライバのインストールは不要です。
ただし、本装置に接続するＵＳＢデバイスに、デバイスドライバ等が提供されている場合は、ＵＳＢデバイスメーカの指示に従い、サーバ・ＰＣにインストールしてください。

●本装置は、アナログビデオ信号を延長することはできません。
ＤＶＩ－Ｉのインターフェースを持つサーバ・ＰＣやモニタを接続した場合、アナログビデオ信号を延長したり、表示することはできません。

●本装置は、著作権保護技術であるＨＤＣＰ（High-bandwidth Digital Content Protection system）に対応していません。　ＨＤＣＰで著作権保護されたビデオは、正常に表示できないことがあります。

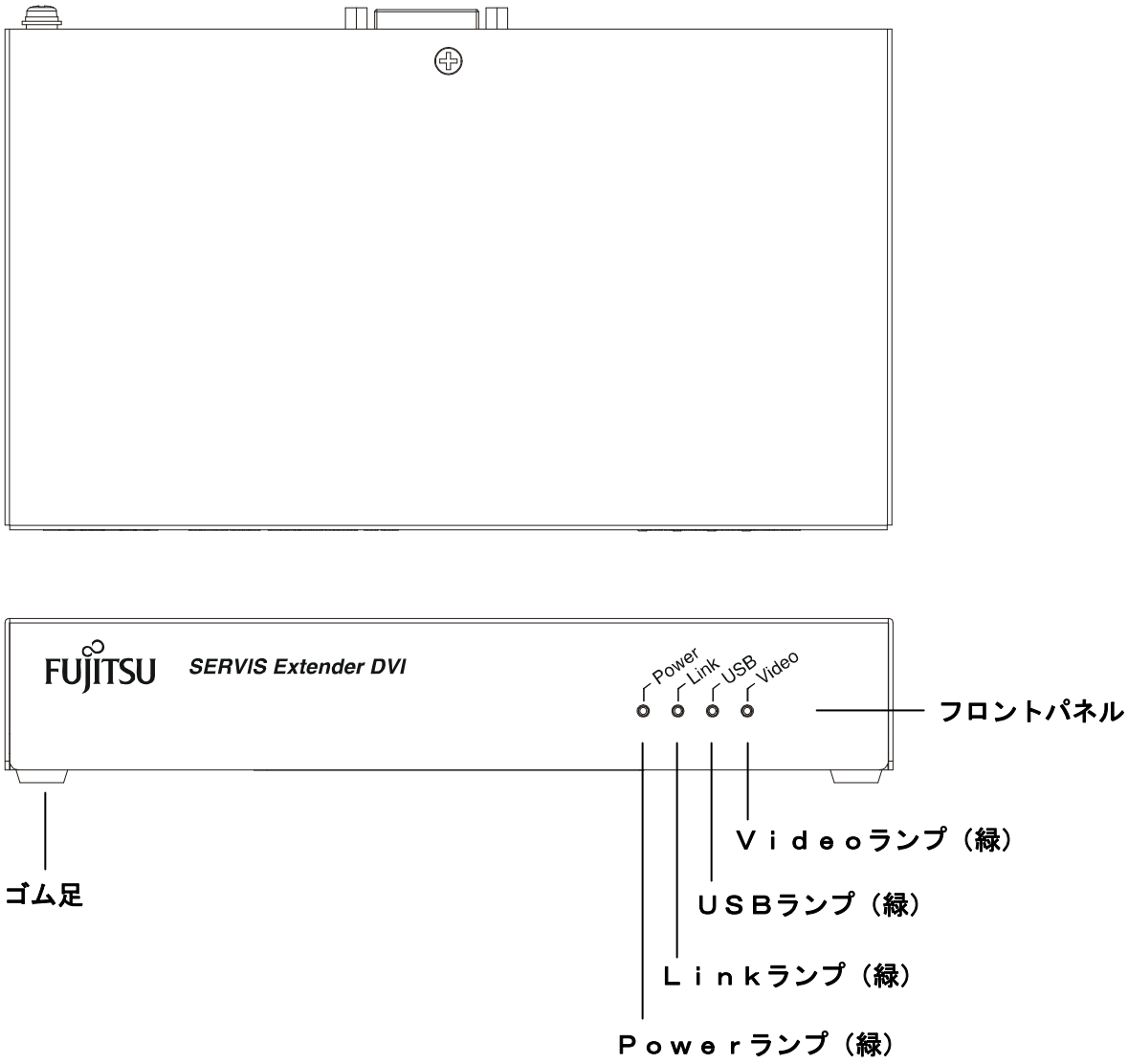
●本装置がサポートするモニタ画面の解像度とリフレッシュレートは、次の通りです。

１９２０×１２００　／　６０Ｈｚ
１９２０×１０８０　／　６０Ｈｚ
１６８０×１０５０　／　６０Ｈｚ
１６００×１２００　／　６０Ｈｚ
１６００×　９００　／　６０Ｈｚ
１４４０×　９００　／　６０Ｈｚ
１４００×１０５０　／　６０Ｈｚ
１２８０×１０２４　／　６０Ｈｚ
１２８０×　９６０　／　６０Ｈｚ
１２８０×　８００　／　６０Ｈｚ
１２８０×　７２０　／　６０Ｈｚ
１１５２×　８６４　／　６０Ｈｚ
１０２４×　７６８　／　６０Ｈｚ
　８００×　６００　／　６０Ｈｚ
　７２０×　４００　／　６０Ｈｚ
　６４０×　４８０　／　６０Ｈｚ

●ＵＳＢ２．０対応のハイスピードデバイスを接続できますが、接続するデバイスによっては、転送速度の低下によって、十分な性能が得られない場合があります。

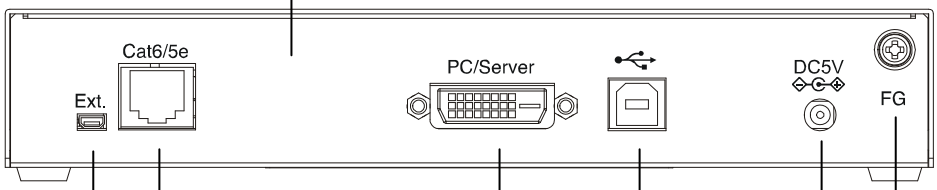
4　各部の名称と、はたらき

4.1　ＬＯＣＡＬユニット



ランプ表示と装置の状態

ランプ名称	ランプのつき方	装置の状態
Ｐｏｗｅｒ	点灯	電源が入っているとき。
Ｌｉｎｋ	点灯	ＲＥＭＯＴＥユニットとの通信が正常のとき。
ＵＳＢ	点灯	ＵＳＢデバイスが正常に動作しているとき。
	点滅	サーバ・ＰＣがサスペンド状態のとき。
Ｖｉｄｅｏ	点滅	ビデオ信号（DVI 信号）を伝送しているとき。



ＦＧ端子
接地用の端子です。

電源コネクタ
ＡＣアダプタを接続します。

ＵＳＢコネクタ
サーバ・ＰＣからのＵＳＢケーブル
を接続します。

ＰＣ／Ｓｅｒｖｅｒコネクタ
サーバ・ＰＣからのＤＶＩ－Ｄケーブルを
接続します。

Ｃａｔ６／５ｅコネクタ
ＲＥＭＯＴＥユニットからの、Ｃａｔケーブルを接続します。

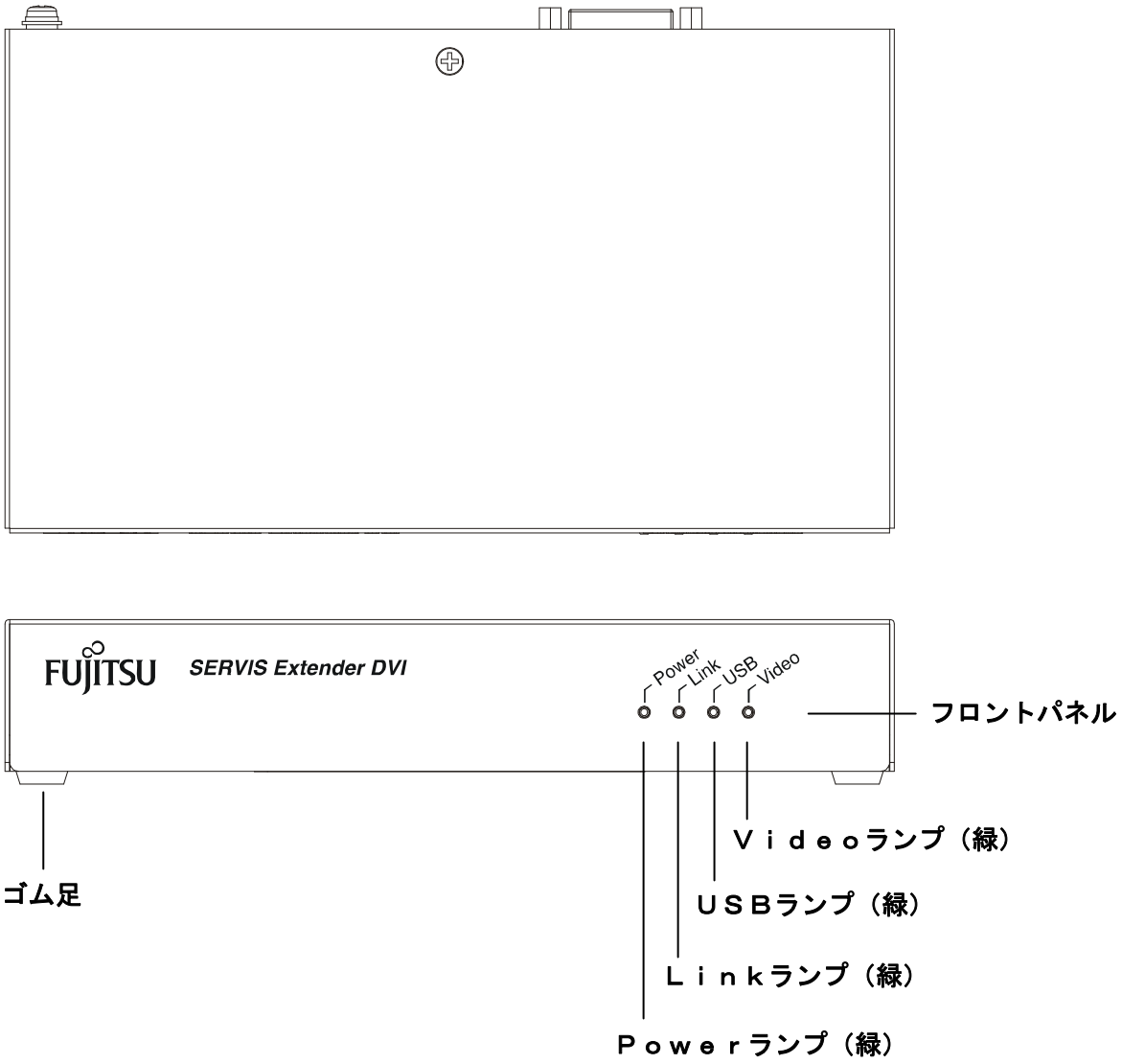
弊社にて使用するコネクタです。
お客様は、何も接続しないでください。

ゴム足

ご注意

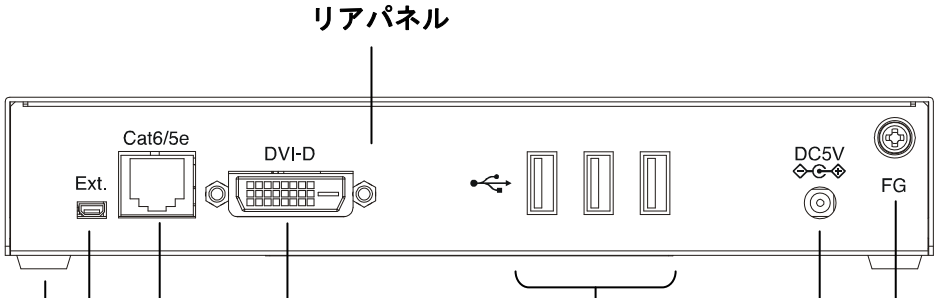
●弊社出荷時、ゴム足は、取り付けられていません。
必要に応じて（据え置きでお使いになる場合等）、底面の四隅に、添付品のゴム足を貼ってください。

4.2 ＲＥＭＯＴＥユニット



ランプ表示と装置の状態

ランプ名称	ランプの つき方	装置の状態
Ｐｏｗｅｒ	点灯	電源が入っているとき。
Ｌｉｎｋ	点灯	ＬＯＣＡＬユニットとの通信が正常のとき。
ＵＳＢ	点灯	ＵＳＢデバイスが正常に動作しているとき。
	点滅	サーバ・ＰＣがサスペンド状態のとき。
Ｖｉｄｅｏ	点滅	ビデオ信号（DVI 信号）を伝送しているとき。



ＦＧ端子
接地用の端子です。

電源コネクタ
ＡＣアダプタを接続します。

ＵＳＢコネクタ
ＵＳＢデバイスを接続します。

ＤＶＩ－Ｄコネクタ
モニタからのＤＶＩケーブルを接続します。

Ｃａｔ６／５ｅコネクタ
ＬＯＣＡＬユニットからの、Ｃａｔケーブルを接続します。

弊社にて使用するコネクタです。
お客様は、何も接続しないでください。

ゴム足

ご注意

●弊社出荷時、ゴム足は、取り付けられていません。
必要に応じて（据え置きでお使いになる場合等）、底面の四隅に、添付品のゴム足を貼ってください。

5　機器の接続

下記の「お願い」「ご注意」をお読みのうえ、機器を接続してください。
具体的な接続例は、５．１項　を参照してください。

お願い

●機器の接続は、本装置や接続機器（サーバ・ＰＣやモニタ）の電源がＯＦＦになっていることを確認してから行ってください。　また、ケーブルや人体の静電気を十分放電してから、作業してください。

●ＬＯＣＡＬユニットとＲＥＭＯＴＥユニットは、原則として、同梱されていた製品どうしを接続して使用してください。　ＬＯＣＡＬユニットとＲＥＭＯＴＥユニットの製造時期が異なる場合、正常に動作しない場合があります。

●Ｃａｔケーブルは、Ｃａｔ６、または、Ｃａｔ５ｅのストレート結線のものを使用してください。

●Ｃａｔケーブルは、外来ノイズの影響を受けないように敷設してください。
特に、電力ケーブルやモータ等のノイズ源からは、極力離してください。　Ｃａｔケーブルを電力ケーブルと束ねたり、同一配管内に敷設しないでください。

●外来ノイズ（電源ノイズ、静電気、電磁波等）の影響が懸念される環境では、シールド付のＣａｔケーブル（ＳＴＰ）をお使いください。

●Ｃａｔ６／５ｅコネクタに、ＬＡＮに接続されたケーブルや、電話回線（ISDN 等）のケーブルを接続しないでください。　故障の原因になります。

●ＬＯＣＡＬユニットおよびＲＥＭＯＴＥユニットのＣａｔ６／５ｅコネクタに、弊社の他の遠隔ユニット製品や、他社の製品を接続しないでください。故障の原因になります。

●ＡＣアダプタ、およびＡＣケーブルは、本装置に添付しているものをお使いください。
添付しているＡＣアダプタ、およびＡＣケーブルは、日本国内のＡＣ１００Ｖ（50/60Hz）専用です。

●ＬＯＣＡＬユニットとサーバ・ＰＣを接続するＤＶＩ－Ｄケーブル、および、ＵＳＢケーブルは、本装置に添付されているものをお使いください。

●ＬＯＣＡＬユニットのＵＳＢコネクタは、サーバ・ＰＣのＵＳＢコネクタと直接接続してください。　ＵＳＢハブを介して接続することはできません。

●サーバ・ＰＣやモニタのＡＣ電源コードは、接地端子付きを使用し、接地極付コンセント（３穴）に接続してください。　接地しない場合、モニタの画面が乱れたり、画面ノイズが発生することがあります。　サーバ・ＰＣやモニタを接地できない場合は、本装置のＦＧ端子にアース線を接続し、接地してください。　アース線は、お客様でご用意ください。
アース線を接続する時は、必ず、本装置のＡＣアダプタや接続機器の電源コードを、電源コンセントから外してください。

ご注意

●Ｃａｔケーブルは、Ｃａｔ６　ＳＴＰケーブルを推奨します。

●Ｃａｔケーブルの種類と最大延長距離の関係は、次の通りです。
Ｃａｔ６とＣａｔ５ｅケーブルでは、最大延長距離が異なります。

ケーブルの種類		／	最大延長距離
Ｃａｔ６	ＳＴＰ	／	１００ｍ
Ｃａｔ６	ＵＴＰ	／	１００ｍ
Ｃａｔ５ｅ	ＳＴＰ	／	５０ｍ
Ｃａｔ５ｅ	ＵＴＰ	／	５０ｍ

●ＲＥＭＯＴＥユニットのＵＳＢコネクタの先には、ＵＳＢハブを４段まで接続できます。

●ＲＥＭＯＴＥユニットに接続できるＵＳＢデバイスの数は、全体で、最大１３個です。
この時、ＵＳＢハブも１個と数えます。

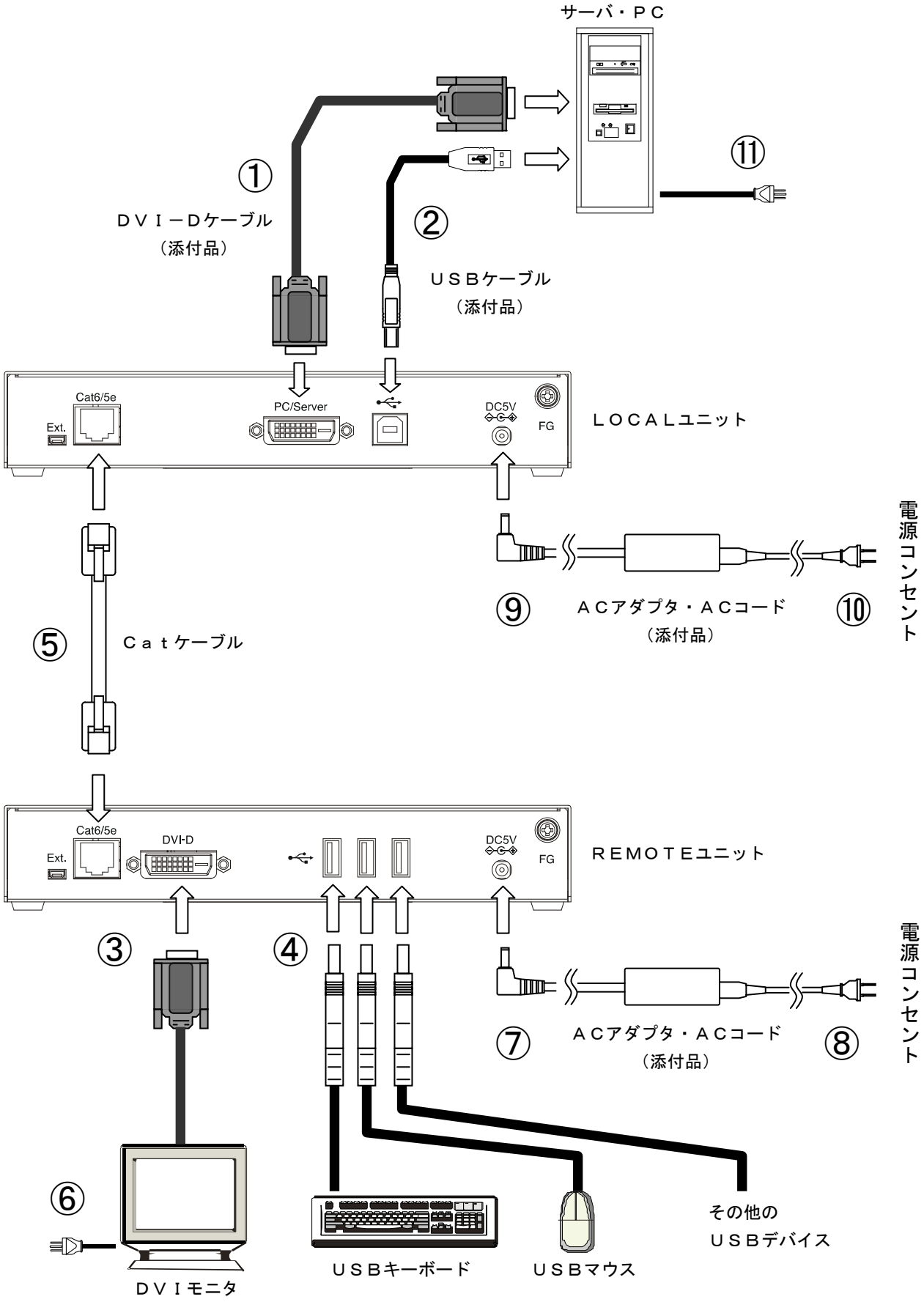
Point

●本装置には、ゴム足を添付しています。必要に応じて（据え置きでお使いになる場合等）、本装置の底面４隅に、ゴム足を貼ってください。

●ＡＣアダプタの電源コード（DC 側）抜け防止のため、電源コードを固定されることをお勧めします。　詳しくは、「６項　電源コードの固定方法」をご参照ください。

●オプション（別売）のラックマウントパネルを使って、１９インチラックに取り付けることができます。　詳しくは、「７項　ラック取付方法」を参照ください。　ただし、ゴム足を貼っていると、ラックマウントパネルを使うことはできません。

5.1　接続例


サーバ・ＰＣ
①
ＤＶＩ－Ｄケーブル
（添付品）
②
ＵＳＢケーブル
（添付品）
⑪
Cat6/5e
Ext.
PC/Server
DC5V
FG
ＬＯＣＡＬユニット
⑨
ＡＣアダプタ・ＡＣコード
（添付品）
⑩
電源コンセント
⑤
Ｃａｔケーブル
Cat6/5e
Ext.
DVI-D
DC5V
FG
ＲＥＭＯＴＥユニット
③
④
⑦
ＡＣアダプタ・ＡＣコード
（添付品）
⑧
電源コンセント
⑥
ＤＶＩモニタ
ＵＳＢキーボード
ＵＳＢマウス
その他の
ＵＳＢデバイス

〔接続手順〕

①ＬＯＣＡＬユニットのＰＣ／Ｓｅｒｖｅｒコネクタと、サーバ・ＰＣのＤＶＩコネクタを、ＤＶＩ－Ｄケーブル（添付品）で接続します。

②ＬＯＣＡＬユニットのＵＳＢコネクタと、サーバ・ＰＣのＵＳＢコネクタを、ＵＳＢケーブル（添付品）で接続します。

③ＲＥＭＯＴＥユニットのＤＶＩ－Ｄコネクタに、ＤＶＩモニタを接続します。

④ＲＥＭＯＴＥユニットのＵＳＢコネクタに、キーボード、マウス、ＵＳＢデバイス等を接続します。

⑤ＬＯＣＡＬユニットのＣａｔ６／５ｅコネクタと、ＲＥＭＯＴＥユニットのＣａｔ６／５ｅコネクタを、Ｃａｔケーブルで接続します。

⑥ＤＶＩモニタの電源コードを電源コンセントに接続し、ＤＶＩモニタの電源スイッチを入れます。

⑦ＡＣアダプタにＡＣコードを接続し、ＲＥＭＯＴＥユニットの電源コネクタに、ＡＣアダプタを接続します。

⑧ＲＥＭＯＴＥユニットのＡＣコードを、電源コンセント（AC100V）に接続します。

⑨ＡＣアダプタにＡＣコードを接続し、ＬＯＣＡＬユニットの電源コネクタに、ＡＣアダプタを接続します。

⑩ＬＯＣＡＬユニットのＡＣコードを電源コンセント（AC100V）に接続します。

⇒　ＬＯＣＡＬユニットとＲＥＭＯＴＥユニットの、Ｐｏｗｅｒランプ、Ｌｉｎｋランプが点灯します。

⑪サーバ・ＰＣの電源コードを電源コンセントに接続し、サーバ・ＰＣの電源スイッチを入れます。（サーバ・ＰＣを起動します）

⇒　ＬＯＣＡＬユニットとＲＥＭＯＴＥユニットの、Ｐｏｗｅｒランプ、Ｌｉｎｋランプ、ＵＳＢランプが点灯します。　Ｖｉｄｅｏランプが点滅します。

ご注意

●サーバ・ＰＣの電源は、一番最後に入れてください。　先に電源を入れた場合、サーバ・ＰＣによっては、ＤＶＩモニタのＥＤＩＤ（Extended Display Identification Data）を正常に読めず、最適な解像度で表示しない場合があります。この場合は、サーバ・ＰＣを再起動してください。

●ＤＶＩモニタが接続されていなかったり、本装置の電源が入っていない状態で、サーバ・ＰＣを起動しないでください。サーバ・ＰＣによっては、ＤＶＩ信号を出力しなくなり、再起動が必要になる場合があります。

Point

●キーボードやマウス、その他のＵＳＢデバイスは、どのＵＳＢコネクタに接続してもかまいません。

6　電源コードの固定方法

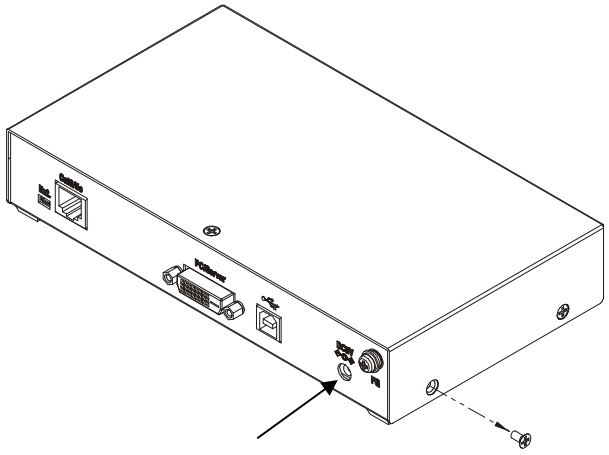
ＡＣアダプタを接続したら、電源コード（DC 側）の抜け防止のため、電源コードを固定されることをお勧めします。　コードの固定方法（LOCAL ﾕﾆｯﾄの例）を以下に示します。

⚠注意

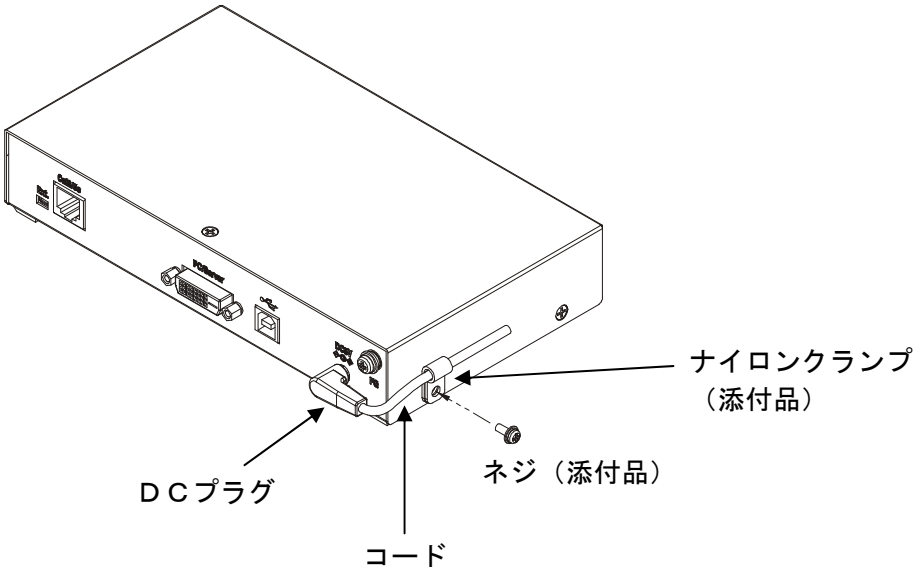
電源プラグ抜去

作業をする時は、ＡＣアダプタのＡＣコードを電源コンセントから抜いてください。

①カバ取付ネジを１本取り外します。　（取り外したネジは、保管しておいてください）



②電源コネクタにＡＣアダプタのＤＣプラグを差し込みます。
次に、添付品の「ナイロンクランプ」と「ネジ」を使って、図の様にコードを固定します。



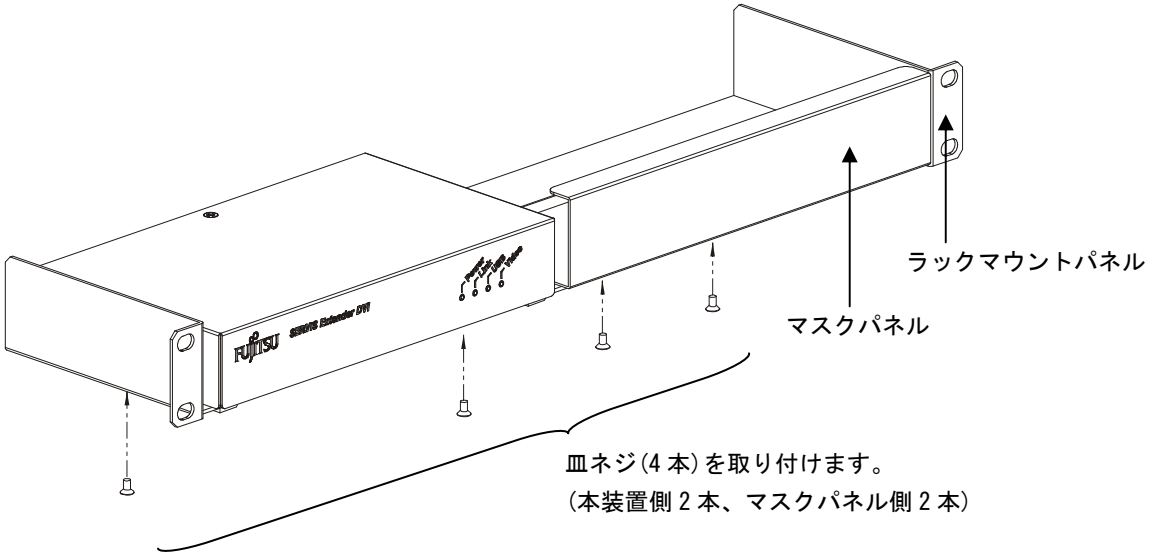
Point

●ナイロンクランプの取り付けが困難な場合は、本装置に添付のナイロンバンドを使って、電源コードを他のケーブル（モニタのケーブル等）と束ねて、コードの抜け防止をおこなってください。

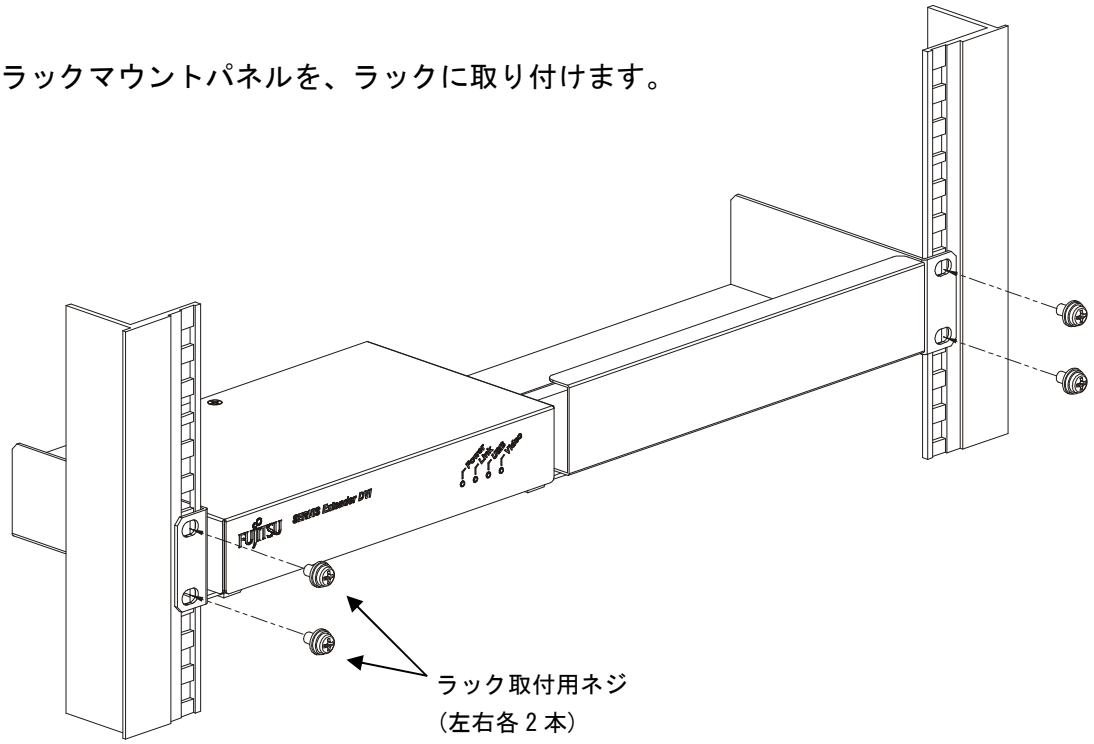
7　ラック取付方法

本装置は、オプションのラックマウントパネル（別売　型格：FP-P006）を使って、１９インチラックに搭載することができます。　　取付方法を以下に示します。

①ラックマウントパネルに添付されている皿ネジを使って、本装置、および、マスクパネルを、ラックマウントパネルに取り付けます。



②ラックマウントパネルを、ラックに取り付けます。



ご注意

●ラックマウントパネルをラックに取り付けるネジ（ラック取付用ネジ）は、本装置にも、ラックマウントパネルにも添付していません。

●本装置の側面とラックマウントパネル、および、マスクパネルの間には、約９ｍｍの隙間が空きます。

8　お手入れ

⚠注意

電源プラグ抜去

作業をする時は、ＡＣアダプタのＡＣコードを電源コンセントから抜いてください。

薬品等の使用

研磨剤を含む清掃剤やベンジン、シンナーなどの有機溶剤、消毒用アルコールは、使用しないでください。　傷や変色の原因となります。

異物の浸入

水や洗剤、スプレー式のクリーナーを直接かけないでください。
液が中に入ると、誤動作や故障の原因となります。

本装置のお手入れをするときは、筐体を乾いた布で拭いてください。　汚れがひどいときには、水にうすめた家庭用洗剤を浸したやわらかい布をよく絞って拭きとってください。

ほこりは、やわらかいブラシなどで払ってください。

9　仕様

遠隔仕様

項　　目		仕　　様
遠隔アイテム	ビデオ	ＤＶＩ－Ｄ　２４ビットカラー（非圧縮）
	ＵＳＢデバイス	ハイスピードデバイス（USB2.0） フルスピードデバイス（USB2.0、1.1） ロースピードデバイス（USB2.0、1.1）
延長距離	Ｃａｔ６ケーブル （STP，UTP）	最大　１００ｍ
	Ｃａｔ５ｅケーブル （STP，UTP）	最大　５０ｍ
最大ビデオ解像度		１９２０×１２００　／　６０Ｈｚ　（WUXGA）

ＬＯＣＡＬユニット

項　　目		仕　　様
サーバ・ＰＣ接続 インターフェース	ＤＶＩコネクタ	ＤＶＩ－Ｄ　２４ピン（メス）×１
	ＵＳＢコネクタ	ＵＳＢ　ＴｙｐｅＢ　×１
Ｃａｔ６／５ｅコネクタ		ＲＪ－４５　×１
ＡＣ電源 （専用ＡＣアダプタ使用）	電　　圧	ＡＣ１００Ｖ±１０Ｖ
	周 波 数	５０／６０Ｈｚ
	消費電力／発熱量	３．６Ｗ（最大）／１３．０ｋＪ／ｈ ３．２Ｗ（標準）／１１．５ｋＪ／ｈ
	消費電流	９０ｍＡ（最大）、７５ｍＡ（標準）
ＤＣ電源 （参考）	電　　圧	ＤＣ５Ｖ±０．２５Ｖ
	消費電流	０．５Ａ（最大）、０．４８Ａ（標準）
動作周囲温度・湿度		０℃　～　４０℃ ２０％　～　８０％（結露なきこと）
保存周囲温度・湿度		－２０℃　～　６０℃ １０％　～　９０％（結露なきこと）
ランプ表示		Ｐｏｗｅｒ、Ｌｉｎｋ、ＵＳＢ、Ｖｉｄｅｏ
外形寸法（突起部を除く）		２０５(W)×１１６(D)×３５(H)mm
質　量		約０．７ｋｇ
ケース材料		金属

ＲＥＭＯＴＥユニット

項　　目		仕　　様
コンソール接続インターフェース	ＤＶＩコネクタ	ＤＶＩ－Ｄ　２４ピン（メス）×１
	ＵＳＢコネクタ	ＵＳＢ　ＴｙｐｅＡ　×３
	ＵＳＢデバイス供給電流	最大５００ｍＡ／ポート
	ハブの接続段数	最大４段まで／ポート
	ＵＳＢデバイス数	最大１３個まで　※１
Ｃａｔコネクタ		ＲＪ－４５　×１
ＡＣ電源（専用ＡＣアダプタ使用）	電　　圧	ＡＣ１００Ｖ±１０Ｖ
	周 波 数	５０／６０Ｈｚ
	消費電力／発熱量	１６．７Ｗ（最大）／６０．１ｋＪ／ｈ ６．３Ｗ（標準）／２２．７ｋＪ／ｈ
	消費電流	３５０ｍＡ（最大）、１４０ｍＡ（標準）
ＤＣ電源（参考）	電　　圧	ＤＣ５Ｖ±０．２５Ｖ
	消費電流	２．６Ａ（最大）、１．０Ａ（標準）
動作周囲温度・湿度		０℃　～　４０℃ ２０％　～　８０％（結露なきこと）
保存周囲温度・湿度		－２０℃　～　６０℃ １０％　～　９０％（結露なきこと）
ランプ表示		Ｐｏｗｅｒ、Ｌｉｎｋ、ＵＳＢ、Ｖｉｄｅｏ
外形寸法（突起部を除く）		２０５(Ｗ)×１１６(Ｄ)×３５(Ｈ)ｍｍ
質　量		約０．７ｋｇ
ケース材料		金属

※１．ＵＳＢデバイスは、システム全体で１３個まで接続できます。ハブも１個と数えます。

添付品

品　名	数量	備　考
取扱説明書	1	本書
ＵＳＢケーブル	1	２ｍ
ＤＶＩ－Ｄケーブル	1	１．５ｍ、　ＤＶＩ－Ｄシングルタイプ
ＡＣアダプタ	2	５Ｖ　３Ａ、　ＤＣ側ケーブル長１．５ｍ
ＡＣコード	2	１ｍ
ゴム足	8	高さ３ｍｍ
ナイロンクランプ	2	ＡＣアダプタ抜け防止用
ナイロンバンド	2	ケーブル結束（抜け防止）用
ネジ	2	ナイロンクランプ取付用

オプション品

品　名	型　格	仕　　様
ラックマウントパネル	FP-P006	１９インチラック搭載用。マスクパネル付

10 トラブル対策

症　　状	原　　因	対　　策
モニタが表示しない。	電源が入っていない。	ＡＣアダプタを、本装置および電源コンセントに接続してください。
	ケーブルが接続されていない。	以下のケーブル接続されていること、および、断線していないことを確認してください。 ・DVI-D ｹｰﾌﾞﾙ（本装置～ｻｰﾊﾞ･PC） ・Cat ｹｰﾌﾞﾙ（LOCAL ﾕﾆｯﾄ～REMOTE ﾕﾆｯﾄ） ・ﾓﾆﾀｹｰﾌﾞﾙ（REMOTE ﾕﾆｯﾄ～DVI ﾓﾆﾀ）
	サーバ･ＰＣがビデオ信号を出力していない。	サーバ・ＰＣを再起動してください。 再起動する前に、以下の点を確認してください。 ・本装置（LOCAL、REMOTE ﾕﾆｯﾄ共）の電源が入っていること。 ・ＤＶＩモニタが接続されていること。
	Ｃａｔケーブルが長すぎる。	Ｃａｔケーブルの長さを確認してください。最大延長距離は、次の通りです。 ・Cat6 ｹｰﾌﾞﾙ （STP/UTP）:　100m ・Cat5e ｹｰﾌﾞﾙ（STP/UTP）:　 50m
モニタの解像度が適切でない。	サーバ･ＰＣの画面設定が適切でない。	サーバ・ＰＣの「画面のプロパティ」で、画面の解像度を設定してください。
	サーバ･ＰＣがモニタのＥＤＩＤを認識していない。	サーバ・ＰＣを再起動してください。 再起動する前に、以下の点を確認してください。 ・本装置（LOCAL、REMOTE ﾕﾆｯﾄ共）の電源が入っていること。 ・ＤＶＩモニタが接続されていること。
ＵＳＢデバイスが動作しない。	電源が入っていない。	ＡＣアダプタを、本装置および電源コンセントに接続してください。
	ケーブルが接続されていない。	以下のケーブルが接続されていること、および、断線していないことを確認してください。 ・USB ｹｰﾌﾞﾙ（LOCAL ﾕﾆｯﾄ～ｻｰﾊﾞ･PC） ・Cat ｹｰﾌﾞﾙ（LOCAL ﾕﾆｯﾄ～REMOTE ﾕﾆｯﾄ） ・USB ﾃﾞﾊﾞｲｽ側ｹｰﾌﾞﾙ

前頁のつづき

症　　状	原　　因	対　　策
ＵＳＢデバイスが動作しない。	Ｃａｔケーブルが長すぎる。	Ｃａｔケーブルの長さを確認してください。最大延長距離は、次の通りです。 ・Cat6 ｹｰﾌﾞﾙ （STP/UTP）:　100m ・Cat5e ｹｰﾌﾞﾙ（STP/UTP）:　 50m
	デバイスドライバがインストールされていない。	本装置に接続するＵＳＢデバイスに、デバイスドライバが必要な場合は、サーバ・ＰＣにインストールしてください。
今まで使用できていたのに、突然、使用できなくなった。	本装置の電源が切れた。	ＡＣアダプタの接続を確認してください。
	ケーブルの接続が外れた。	以下のケーブルが接続されていること、および、断線していないことを確認してください。 ・DVI-D ｹｰﾌﾞﾙ（LOCAL ﾕﾆｯﾄ～ｻｰﾊﾞ･PC） ・USB ｹｰﾌﾞﾙ（LOCAL ﾕﾆｯﾄ～ｻｰﾊﾞ･PC） ・Cat ｹｰﾌﾞﾙ（LOCAL ﾕﾆｯﾄ～REMOTE ﾕﾆｯﾄ） ・USB ﾃﾞﾊﾞｲｽ側ｹｰﾌﾞﾙ
	本装置がハングアップした。	本装置（LOCAL、REMOTE ﾕﾆｯﾄ共）のＡＣアダプタを、電源コンセントから抜き、再度、接続してください。
	サーバ･ＰＣに不具合が発生した。	サーバ・ＰＣを再起動してください。

保 証 規 定

1. 保証期間内に商品が故障した場合は、本規定に従い無償修理致します。
   製品に本書を添えてお買い上げ販売店等にご依頼ください。

2. 保証期間内でも次の場合は有償となります。
   (1) 修理依頼時に保証書またはお買い上げ伝票の提示がない。
   (2) お買い上げ日、お客様名、販売店印の記入がない、及び保証書またはお買い上げ伝票を改変した場合。
   (3) 商品に添付のユーザーズ･マニュアルの注意事項やご使用上の注意を満足していない場合。
   (4) 出張修理を要する場合。
   (5) 本書に故障内容を明記されていない場合。
   (6) 書面が添付されていても、内容が不明で再現のために調査費用が発生した場合。
   (7) 火災、地震や台風などの天災、騒乱などの人災、公害や異常電圧などの使用環境による故障および損傷。
   (8) 保管・運搬による故障および損傷。
   (9) 接続された他の機器に起因して故障した場合。
   (10) 弊社保守部門以外で修理、調整、改造をした場合。
   (11) 取扱い上での不注意、ご使用による故障および損傷。
   (12) 弊社が認めた以外で使用した場合のトラブル。

3. 将来販売されるソフト、ハードとの互換性は保証されませんのでご了承ください。
   ･ソフトやハードの組み合わせ等の相性で発生するトラブルは故障としませんのでご了承ください。
   ･修理･交換部品が製造中止や入手困難な場合は､相当品または上位互換品と交換する場合があります。
   ･本商品を第 3 者に転売した場合は保証対象外となります。

4. 本商品の故障またはその使用で生じた直接的､間接的損害は､弊社は一切の責任を負わないものとします。

5. 本保証規定は日本国内で有効です。 This warranty is valid in Japan.
   また本商品は、極めて高い信頼性が要求される下記のような用途での使用はできません。
   これらの使用は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
   ・軍事目的・原子力設備・交通制御設備・防火、防災設備・燃焼制御設備・航空宇宙機器
   ・生命維持のための医療機器・その他人命や財産に影響をおよぼす設備。

＊保証期間終了後の有償修理は別途見積となります。

本規定は、以上の保証規定により弊社が無償保証を行うためのもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

＜ 故障内容 ＞

故障内容を具体的に記載ください。

記載ない場合は返却させていただく場合があります。

★1. サーバ・ＰＣ、キーボード、マウス、モニタの型式を記載ください。

★2. 初期不良でしたか？ 使用中の故障でしたか？ :（初期／使用中）

★3. 故障内容を具体的に記載ください。

保　　証　　書

品　　名　：　ＳＥＲＶＩＳ　Ｅｘｔｅｎｄｅｒ　ＤＶＩ

型　　名　：　ＦＥ－３０００ＣＸＵ

製造番号　：

この度は、弊社商品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本保証書は、保証規定により商品の無料修理を行うことをお約束するものです。
お手数ですが所定項目へご記入ください。
★印欄（裏面「保証規定」の故障内容欄にも有り）の記入のない保証書は無効となり、無料修理はできなくなりますので、かならず記入の有無をご確認ください。
商品の故障など修理発生時に無償・有償修理の区別なく本保証書の提示が必要になります。
本保証書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

★お客様	ご住所	〒　　電話　　（　　） e-mail
	お名前	フリガナ
★お買い上げ日		年　　月　　日
保　証　期　間		お買い上げから **１ 年間**

販売会社または販売店
住所・会社名（または店名） 電話　　（　　）

〈製品に関するお問い合わせ〉

富士通コンポーネント株式会社
第二マーケティング部
TEL：03-5449-7006, FAX：03-5449-2628
e-mail：promothq@fcl.fujitsu.com
ホームページ：http://www.fcl.fujitsu.com/

＜修理・不具合に関するお問い合わせ＞

富士通コンポーネント　お客様サービス＆サポートセンター
TEL：0120-810225　＊携帯、PHS からもご利用になれます。
e-mail：servis-center@fcl.fujitsu.com
営業時間：9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00（土、日、祝祭日を除く）

SERVIS Extender DVI　FE-3000CXU

取扱説明書

発行日　　2012 年 10 月
発行責任者　富士通コンポーネント株式会社

Printed in Japan

FUJITSU

121030(NC14004-L214_01)